

令和6年度自己評価と学校関係者評価

— 当園知育教材研究、指導講師（平田匡邦先生）による評価

幼稚園教育課程と保育指針の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、保護者のニーズを確認することで、本園がこれから担う役割について検討する。

重点項目	ねらいと具体的な取り組み	自己評価と課題	平田先生
<p>幼稚園教育要領、保育指針を理解し、教育課程、保育課程の編成と実施</p>	<p>『健康』</p> <ul style="list-style-type: none"> 登園してきたらカバンを置き、進んで戸外で遊ぶ。 様々な活動に興味を示し、楽しんで取り組む。 衣服の身だしなみをきちんとする。 <p>特に、ポロシャツが上に出ているか、襟は出ているか、靴下を伸ばしているかなど、友だちと見合っこなどして、身だしなみに意識を向ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生や友だちと毎日の給食の献立や材料を知り、食べ物から栄養が取れ、体を作っていることを知る。(食わず嫌いのものなど減らし、食べられる種類を増やす) ベランダで育てているプランター菜園を皆で大事にして、毎日変わる様子を観察する。 自分の体調が悪くなったら、自分からすぐに先生や友だちに伝える。 皆で危険な遊び方などを振り返り、安全に遊べるよう見直す。 <p>『人間関係』</p> <ul style="list-style-type: none"> 「おはようございます」と登園してきた子どもにあいさつをする。 お友達ともあいさつをするように声をかける。 先生の話をよく聞き、それから自分なりに考え、取り組んでみるよう、誘導していく。 物事を最後までやり遂げようと頑張る。 	<p>【 評価 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登園してきた子どもたちに、どんどん外遊びに誘い、朝から気持ちを元気なモーションにもっていった。 洗面所にある鏡で自分の顔や服装を見てもらって気づき、完全に習慣にはなっていないが、年長組では、声を掛けるとすぐに整えられるようになった。 すぐにたくさん食べられなくても、一口だけ食べるなど、意欲が出てきた。 <ul style="list-style-type: none"> 育てた野菜の生育に興味をもち、図鑑で調べたり、成長していく様子を観察した。また、給食で出てきた野菜に関心を寄せ、ゆっくり味わった。 仲のいい友だちや、横に座っている友だちの体調を気にかけたり、お互いに友達の様子を気かけ、体調の悪い友達のことを先生に教えていた。 <p>【 評価 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生からも元気に挨拶して、子どもたちを受け入れた。 <ul style="list-style-type: none"> 一気に全部説明するのではなく、話の途中でも、子どもたちに考えさせてみる「間」を大事にした。 作業や取り組みが進まず、じっとしている子どもや歩き回る子どもにも、どこで躓いているのか理解していないのかを見極め、ヒントを出し、助け舟を出して、最後までやり遂げるまで見届けた。先生と一緒に活動しながら、子どもたちに充実感を得させた。 	<p>・外遊び 外遊びはみんな大好きですね。自分のお気に入りの遊具や好きな場所、物を使って体を動かすことなど、先生が率先して園児を誘い、一緒に体を動かしましょう。特に夏場は遊具や砂場の砂、その他全てが危険な熱さになります。十分な配慮をお願いします。</p> <p>・給食 毎日のメニューや体の元になる栄養素を伝えることは、とても良いことだと思います。食育の第一歩ですね。また、しっかり噛むことも大事です。噛むことの大切さを伝え、実際に給食でやってみてください。</p> <p>・野菜づくり 成長していく楽しさ、食する楽しさ・味の感動、世話をする大切さ、生命の尊さなど、教えたい保育材料が満載です。今年はこんなアプローチで・・・ いろいろな観点から保育に活用しましょう。</p> <p>・人間関係（あいさつ） 子どもは先生をよく見えています。あいさつのはじまりは、先生のあいさつがお手本になります。登園した際の朝一番、園児へのあいさつ</p>

- ・友だちと関わりながら、喜びや悲しみを共感し合う。
- ・自分の思ったことを相手にきちんと伝え、相手の話も最後まで聞く。
- ・小さなクラスのお友だちには優しく接し、困ったことがあれば、助けてあげる。
- ・友だち一緒にがんばっていることを認め合う。
- ・友だちと一緒に使う物は、大切に使う。

『環境』

- ・戸外で見つけた虫や植物に興味関心を持つ。
- ・わからないことは図鑑で調べたりして、より深く知ろうとする。
- ・小さな虫を見つれたり、捕まえたりすることで、生命の尊さに気づいて接する。
- ・遊んだおもちゃは子どもたちで片付ける
- ・時計を使いながら、数字や時間に興味を持たせる
- ・クラスにいる外国籍の子どもに興味を持ち、一緒に遊ぶ

『言葉』

- ・先生や友だちの言った話をよく聞き、興味や関心を持つ。
- ・自分が思ったことを素直に言葉で表現できる雰囲気を作る。
- ・分からないことは、すぐに聞けるような環境づくりをする。
- ・言葉を使った遊びを通して、皆で楽しんでやりとりする。
- ・絵本や紙芝居などをみたり聞いたりすることを喜び、中に出てくる絵や色を親しむ。

『表現』

- ・生活の中で見たり聞いたり、触れたりするものに興味を持ち、感じたことを表現する。
- ・劇遊びを通して、登場人物やストーリーに関心を持ち、イメージを膨らませる。
- ・自分の言葉で動きを表現して、演じてみる。
- ・歌に出てくる歌詞の情景をうかべて、歌声に感情や表情を乗せる練習をする。

- ・外遊びで一緒になったり、預かり保育で一緒に活動するとき、小さなお友だちを気にかけてあげるようにした。
- ・特別支援が必要な子どもには、職員皆で寄り添い、温かく接していった。

- ・物の大事さをいつも心に持ち、準備物や片付けに際しても、ゆっくり丁寧にできるように促した。

【 評価 A 】

- ・外遊びで捕まえた虫などは、丁寧に扱い遊び終えたら、また草の辺りに逃がしてあげた。
- ・片づけるスピードの指標として、時計をみんなで見ながら、数字に興味を持たせた。
- ・給食で出てくる外国メニューなどでも、興味を持たせた。
- ・あいさつなど簡単な外国語を話してみたりしていた。

【 評価 A 】

- ・保育の合間に、しりとりなど言葉を考えさせるゲームをしてみんなで盛り上がった。
- ・「擬音語」を集めてみたり、擬音語を使って言葉遊びをして楽しんだ。
- ・友だち同士の会話で、気になった言葉を使った時は考えてもらい、言い直しを指導した。
- ・数字が出てくる絵本や紙芝居をみて、みんなで復習しながら楽しんだ。

【 評価 A 】

- ・物を取り上げたお絵描きの時には、実際に本物を先にじっくり見せ、触ったり、においを嗅いだりして感覚を養った導入を大事にした。
- ・劇遊びなど、子どもと一緒にセリフを考えながら、台本作りをした。
- ・情景をイメージして、高音も出るよう練習していった。

を大事にしましょう。
また、いろいろな人と自然にあいさつができるよう、お面を作ったりして、みんなが「あいさつ劇」をやってみてはいかがでしょうか？

・人間関係（友だちとの関わり）
お友だちとの会話の中で、「おはよう」「ありがとう」「だいじょうぶ」など、互いに認め合うこと、相手のことを思いやるキーワードが、自然に言えるようになったらいいですね。

・環境
虫や植物に興味関心を持ち、疑問や不思議に思ったことを「自分で調べてみる」行為は、とっても素晴らしいですね。
興味関心を持つ→疑問を持つ→もっと知りたい→自分で調べる 多くの子どもがこんなサイクルで思考・行動ができるようになったら、自立度が高まり、より成長が期待できますね。

片付けは、動機付けと習慣化が大切です。その日はできなくても、継続できることが大切です。一人できなくても、みんなでやれば楽しくできます。
いっぱい褒めてあげ、一人ひとりができるように一歩ずつ進めていきましょう。

・言葉
いろいろな環境を作り、保育に工夫がこらされています。特に、指示をした内容をやるだけでなく「考えさせる内容」の保育はぜひ継続発展させていただきたいと思います。
「考える力をつける」ことは、子どもを大きく成長させる原動力に繋がります。

・表現
劇遊びでは、決められた言葉を表現するだけでなく、「表現を考える」保育を実践されているということで、楽しみながら

	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器に興味を持ち、使い方や音色に親しみ、皆で息を合わせて奏でる楽しみを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいな歌声と怒鳴り声などの違いを理解し、大きな声でも怒鳴ったりしないよう気を付けた。 ・幼稚園にあるさまざまな楽器を触って、興味を持たせた。 	<p>発想力が磨けるのではないのでしょうか。ストーリー仕立てにするのもいいアイデアですね。</p>
<p>保育の在り方、子どもへの対応の仕方の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが元気に挨拶をして登園してきたことを喜ぶ。 ・保護者への挨拶、言葉がけをしっかりする。 ・先に排泄、水分補給をしっかりして、活動にじっくり集中できるようにする。 ・自分の物、みんなで使う物は、大切に丁寧に扱う。 ・準備片付けなどがスムーズにいけるよう、動線を考えて配置する。 ・子どもたちの意思や意見を表現できる環境、雰囲気づくりに気を配る。 ・子どもたちが興味、関心を持ち、もっと知りたい、やりたいという意欲がでるよう、導入などに力を入れる。 ・フラッシュカードをする上で、子どもの声が出るよう、うまく導入していく。 ・個人差もあるので個人をよく知り、完成までの時間に許容範囲を設ける。じっくり取り組む活動では、早くできた子どもへの対応を考える。 ・子どもの状況をしっかり把握して、静と動の活動を交互に取り入れ、子どもたちが飽きずに活動できるようにする。 	<p>【 挨拶 評価 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生が毎日率先して挨拶をしているうちに、だんだん子どもたちの方からも、挨拶をするようになった。また、給食さんが片付けているのを見て、「おいしかったよ。」「ごちそうさまでした。」という言葉が聞かれるようになり、うれしかった。 ・見学に来られた来園者に、子どもたちの方から、挨拶してくれるようになった。 ・他のクラスで、けがや病気で休んでいる子どものことも知り、元気に登園してきた際には、皆で喜び合った。 <p>【 水分補給 評価 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こまめにお茶タイムをとったり、自分からでもお茶を飲めるよう促した。また、水筒の残量を気に留め、給食の時には、コップにお茶を入れて飲むようにした。 ・保育室以外、移動する際は、水筒を持たせた。 ・1,2歳児では、なかなか自分からお茶を飲まない子どももいるので、随時声を掛け、どれくらい飲んだかチェックした。 <p>【 保育の流れの工夫 評価 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の部屋に入ってから自分の身支度がスムーズにできるよう、最初にゆっくり細かいところまで直接動きながら説明した。 ・絵画や制作をする時は、準備や片付けがスムーズにいくよう、動線を考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ 左に書いているような情景はとても微笑ましいと思います。子どもたち・保護者、来訪者への先生方の明るく元気の良い会話が子どもたちに反映されているものと思います。 自分からの挨拶や言葉かけ→相手も呼応してくれる→気分がいい！ こんな気持ちが醸成されればいいですね。 ・子どもたちの状況把握 保育の中では「子どもたちの観察」がとても重要です。よく観察をし、「ここはこうだったね」と誉めてあげると子どもは「自分のことを見てくれている」と、より信頼関係が増してきます。また、保育状況がどうなのかも観察していると信号を送ってくれます。 常に「ひとり一人の観察」を大事にしましょう。 ・保育の流れの工夫 保育時間は限られていますので、段取りや進行はとても大切です。日々、計画を立てた内容を事前に実践してみましよう。
<p>保護者との連携、信頼関係、子育て支援の強化 地域住民との相互理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園だより、クラス便り、保健だよりの発行 ・ホームページに、お知らせや行事、日常保育の様子を掲載 ・各クラスの動画配信 ・アプリを使った緊急メール配信、連絡案内のお便りページ ・分散参観、個人懇談 ・保護者からの電話相談 ・子育てに関する悩み、家庭での悩みを相談すること 	<p>【保護者への情報発信 評価 A 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の保育の様子や子どもたちの表情をカメラで写し、動画配信をしてゆっくり観てもらっている。 ・ペーパーレスを進めているので、大事なこと、急ぎがあればアプリで配信している。 ・懇談時には、家での様子、園での様子を伝え聞き、これからの保育に反映させていただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対応 情報伝達 通信手段を選んで発信することは、保護者からも支持されていると感じます。 保護者の話を聞く できうる限り保護者との接触を多くし、子育ての考えや家庭での様子をお聞きすることが非常に重要と考えます。

	<p>とのできるスクールカウンセリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士による子育て情報交換会、個人面談 ・未就園児教室、保育体験、園庭開放 ・地域の子どもたちの一時預かり ・行事前の近隣の方々への配慮、挨拶まわり、お礼 ・幼年消防クラブの「発会式」「花火指導」「防火豆まき」 ・母の役員会 ・近隣小学校（松原北）と年長組との、ふれあい交流会 	<p>【保護者の子育て相談・情報交換会 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一か月に1回、専門の心理の先生に来ていただき、希望の保護者との面談を行っている。 ・子育て支援担当の保育士も、グループサロンや2,3人のグループ、個人面談など、保護者が気軽に相談、情報共有できる場を作った。 ・面談までに、子どものクラスに入ってしっかり子どもの状況を把握する。面談が終わると、保護者から聞いた話を担任や全職員と共有し、子どものために役立てている。 ・心理カウンセラーの先生や体育指導の先生、保育士、保護者とのコラボも行き、各方面からの貴重な意見をいただき、保護者と共有した。 <p>【地域住民との相互理解 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事等では、音や声で迷惑をかけることもあるので、前もって近隣にお手紙を配布して理解をいただいた。 ・隣接しているお宅の前の道は毎日清掃している。 <p>【年長と小学校との交流会 評価 B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに計画を立て、小学校に提案して、会議にかけてもらった。小学校と連携を取りながら、1年生、5年生との交流をさせてもらい給食を試食させていただいた。もっともっと交流をさせていただきたかったが、なかなか難しいところもあった。 	<p>保護者の子育ての悩みは、いっぱいあると推測します。</p> <p>まずは、「聞いて聞いて聞いてあげる」これこそが、不安を和らげてあげるとともに、問題解決の糸口につながると信じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談 <p>一人の子どもに対し、先生同士でいろいろな意見交換することは大切ですね。また、いろいろな知見を持った人からの情報やアドバイスは、保護者にとっても有り難い存在だと思えます。いろいろな角度から子どもを見ることが大事ですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との相互理解 <p>清掃、付近の方々への心遣いが感じられます。接触を多くし、積極的にコミュニケーションをはかってください。</p> <p>小学校との交流</p> <p>松原ひかり幼稚園の保育風景、懸命に頑張っている園児の様子、先生と園児との関わりなどを小学校の先生や校長先生にぜひ見にきて欲しいものです。</p>
<p>安全管理と施設設備の点検、補修,管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正門その他の場所での防犯カメラの設置 ・毎月、(火災・地震・不審者・Jアラートなど)の避難訓練の実施 ・遊具施設や危険箇所を毎日確認 ・故障のすみやかな補修 ・災害危険、特別警報等の緊急時のマニュアルの確認 ・消毒清掃で傷んだ廊下、保育室の床の補修 	<p>【安全管理 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターホンが鳴ると、カメラをチェックして、来園者の確認をしている。来園者は玄関で対応している。 ・遊具のネジなど緩んでないか毎日点検し、園内外に不審物などないか、見回りをしている。 <p>【避難訓練 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、地震・火災・不審者・Jアラート・園児引き渡しなどの訓練を時間やパターンを変えて行っている。年に2,3回消防署、警察署の方に訓練を見ていただき、指導を仰いでいる。 ・訓練後は反省会をして、次回に生かせるよう見直しをしている。 	<p>安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問者 <p>外部の訪問者だけでなく、在園の保護者(その家族)も必ずモニターでチェックしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異常気象 <p>夏の気温上昇で遊具をはじめ異常なほどにいろいろなものが熱を帯びています。子どもの行動を予見し、接触火傷をしないようこれまで以上に注意を払ってください。</p> <p>また、線状降水帯によって大雨に見舞われることも想定されます。お迎え方法・</p>

		<p>【施設管理 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内外の施設で不具合の所があれば、担任や係の者が報告書を書き、自分たちで修理したり、運転手さんや業者の方に直してもらっている。 	<p>バスの運行途上での対処など、十分な対策を講じてください。</p>
<p>子どもの健康と安全への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登園時の検温 咳が出ている子どもへのマスク着用を促す 個人の成長記録（いろんな分野） 内科・眼科・耳鼻科・歯科検診 身体測定、眼の検査、聴力測定、手洗い指導 歯ブラシ指導の実施 保育環境の日々の清掃、衛生管理、整理整頓 自園給食での栄養バランスの改善、アレルギーの細かい対応 窓を開けて、こまめな換気 感染症等が出た際には、園内の消毒を徹底し、感染拡大をふせぐ。 家庭でもできる消毒や処理の仕方を保護者と共有する。 夏は蚊取り線香を数か所おき、子どもたちには虫よけスプレーやミストをこまめに使う。 保育室や園庭で危険な場所を職員全員把握し、子どもの年齢と動線を考えた遊び方、どこでどのように見守るのか、どのような声掛けをどのタイミングでするのが効果的かを考え、実行する。 ヒヤリハットの報告と職員間の共有を必ず行い、どの部分で抜けがあるのかを改善していきながら、危機管理のスキルを高める。 	<p>【健康管理 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝、保育中、給食前やおやつ前、降園時に子どもの体調をしっかりと確認した。 定期検診以外にも、看護師に歯ブラシ指導、手洗い指導、聴力、視力検査、運動機能検査などを工夫して、子どもたちが集中できるよう検査してもらっている。 <p>【衛生管理 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育室や共有する場所、特に玄関・トイレは、清潔できれいな場所として、常時保持できるよう心掛けている。トイレトレーニング中の子どもたちにとっても、爽やかな雰囲気で落ち着きの場所であってはならない。 <p>【危機管理 評価 A】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豪雨の時、通園路が浸水しないよう日頃から雨水用の溝や排水溝の砂などを定期的に取り除く掃除をした。 バスが到着したら、添乗の先生と一緒に子どもたちが降りて来るのを確認し、添乗の先生は降りし忘れがないかバス内を点検した。 バスに閉じ込められた場合、助けを呼ぶ訓練をした。一人ずつ、クラクションを押してみる。助けてのブザーを押してみる。 駐車場や駐輪場での利用の仕方やルールを、園だよりやクラスだよりで小まめに声掛けをして、事故なく皆が安全に使用できるように協力をお願いしている。 	<p>健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子を観察 <p>小さな体調の変化を見逃さないという気持ちで観察にあたりましょう。また、先生全員が一人の子どもの様子を見て互いにフォローし合うことも大事なことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 視力 <p>ゲームを長時間する子どもが増えていきます。視力も低下傾向にあります。「見えていますか？」教室内での確認や不定期の視力検査で早期に視力低下を発見しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手洗い <p>手洗いは感染症対策の一つであることは言うまでもありません。きちんとした手洗い励行のため、常に手洗いの状況を確認しましょう。</p> <p>十字路から園の駐車場までの進入路では、車のスピードを守るよう周知しましょう。（行き帰りともに）</p>

今後の課題

- * 園と保護者とのルールを再度見直し、子どもの安全のために一致団結して皆で守り通さなければならない。(きちんと守っている方への感謝をわすれずに。)
- * 行事前になると、登園を拒む子どもが出てくる。本児の思いを聞き出し、本児に寄り添いながら、何とか解決できる対策を皆で考えなければならない。また、自分の保育の見直しも手掛かりとなるので、そちらからも探っていかなければならない。
- * 子どもたち、保護者への対応はきっちりできているか、問題があればその日のことはその日に解決し、お互い翌日を気持ちよく迎えられるようにすること。
- * 各クラスから出る食べ残しを、少しでも減らすためにはどうしたらよいか、食育から子どもたちへの食の意欲をわかせる。

今後の課題について (平田先生コメント)

*子どもの観察

子どもの体調をはじめ、正課の中での興味や関心度・習熟度、給食、外遊びなど、一日を通してひとり一人の観察はとても重要です。

観察がしっかりできていれば、「ここをこんなふうにしたのはとても良かった」と具体的に褒めてあげることができます。

「自分のことを見てくれている」「嬉しい」その気持ちが先生との信頼関係が大幅に向上させます。充実した保育にも繋がります。問題が生じた際には、解決の糸口にもなります。

「より観察する目」を職員全員でさらに養いましょう。

*危機管理

気候変動による豪雨・暑さ、不審者、バス運行、感染症など、予期せぬ事態に備え、徹底した対策が緊要かと思えます。園内だけでなく外部の方のアドバイスもいただきながら対策・その実践に万全を期しましょう。

平田匡邦 